

平成21年度「全国学力・学習状況調査」における春日井市全体の結果について

春日井市教育委員会

平成21年4月21日に小学校6年生・中学校3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が実施され、春日井市教育委員会では、本市における調査結果について、分析ならびに今後の取り組みについて検討をすすめてきました。

その内容について、掲載をします。

1 春日井市の学力調査結果状況（小学校6年生）

全国学力調査では、国語と算数について、知識を問うA問題と知識を活用する力を問うB問題がそれぞれ出題されています。

◎状況をみるにあたって

- ・教科・A B問題別に次の3段階で分析しました。
 - 正答率8割以上→「たいへんよくできている」
 - 正答率5割以上8割未満→「おおむねできている」
 - 正答率5割未満→「努力を要する状況である」
- ・設問別に、優れている内容（○：正答率7割以上）と努力を要する内容（△：正答率5割未満）の一部を紹介します。

小学校6年生

国語	A：主として「知識」に関する問題	B：主として「活用」に関する問題
	おおむねできている<正答率約7割> ○ 漢字を正しく読む、書くこと ○ 文章の内容に合わせて、小見出しを書くこと △ 文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書くこと	おおむねできている<正答率約5割> ○ 話し手の立場や意図をとらえて聞くこと ○ 目的や意図が伝わるように必要な情報を取り出すこと △ 目的や意図に応じて、事象や意見などを関係づけながら書くこと
算数	A：主として「知識」に関する問題	B：主として「活用」に関する問題
	おおむねできている<正答率8割弱> ○ 繰り上がりのある加法の計算、整数・小数の除法の計算、同分母の分数の減法の計算 ○ 数の構成・偶数の意味についての理解 ○ 長方形・直角三角形の定義や性質、平行四辺形の向かい合う辺の長さが等しいという性質の理解	おおむねできている<正答率5割強> ○ 整数と小数の加法を用いて、重さを求めること ○ グラフから必要な数量を読み取ること △ 基準量と比較量を基にして、割合の大小を判断し、その理由を記述すること

2 春日井市の学習・生活習慣等の状況（小学校6年生）

学習、生活習慣等の状況調査を「基本的な生活習慣」「学校、家庭に居場所があるか」「自己肯定感」「規範意識」の4つの観点から分析した本市の全体傾向は、国とほぼ±2ポイントの範囲内であり、国と同様の傾向を示しています。

◎状況をみるにあたって

国と比較して、肯定的な回答の割合が高い質問項目（○：国平均より3ポイント以上高い）、低い質問項目（△：国平均より3ポイント以上低い）の代表的なものを紹介します。

小学校6年生

- 「家で学校の授業の予習をしています」と答えた児童は17%で、国平均より3ポイント以上上回っています。
- 「総合的な学習の時間の勉強が好きです」と答えた児童は39%で、国平均よりちょうど3ポイント上回っています。
- △ 「いじめは、どんな理由があってもいけない」と答えた児童は72%で、国平均より3ポイント以上下回っています。
- △ 「読書が好きです」と答えた児童は41%で、国平均より5ポイント近く下回っています。

3 学習・生活習慣等の状況と学力状況との関連（小学校6年生）

- ・ 読書が好きな児童ほど、教科の正答率が高い傾向にあります。
- ・ 人の役に立つ人間になりたいと思う児童ほど、教科の正答率が高い傾向にあります。

4 今後の指導のポイント

（1）小学校6年生国語

- ・ 物語文の読み取りでは、表現の工夫をとらえる指導を重点的にすすめる。
- ・ 説明文の読み取りでは、書き手の意図を読み手に伝えるための表現の工夫に目を向けさせ、その工夫を「書く」指導に活用することを継続してすすめる。

（2）小学校6年生算数

- ・ 基礎基本の定着とともに、発展的な問題に挑戦させ、数学的な思考力を高める指導を継続する。
- ・ 自分の考えを分かりやすく説明したり、相互に表現し合ったりするなど論理的表現力を高める指導をすすめる。

5 保護者（小学生をもつ）の皆様へのお願い

- ・ 本の読み聞かせや本の紹介をしていただき、読書好きな子どもにしましょう。
- ・ 家の手伝いや地域の奉仕作業に参加させていただき、人の役に立つ経験をたくさんさせましょう。

6 その他 この調査の結果は、学力の特定の一部です。

平成21年度「全国学力・学習状況調査」における春日井市全体の結果について

春日井市教育委員会

平成21年4月21日に小学校6年生・中学校3年生を対象に、「全国学力・学習状況調査」が実施され、春日井市教育委員会では、本市における調査結果について、分析ならびに今後の取り組みについて検討をすすめてきました。

その内容について、掲載をします。

1 春日井市の学力調査結果状況（中学校3年生）

全国学力調査では、国語と数学について、知識を問うA問題と知識を活用する力を問うB問題がそれぞれ出題されています。

◎状況をみるにあたって

- ・教科・A B問題別に次の3段階で分析しました。
 - 正答率8割以上→「たいへんよくできている」
 - 正答率5割以上8割未満→「おおむねできている」
 - 正答率5割未満→「努力を要する状況である」
- ・設問別に、優れている内容（○：正答率7割以上）と努力を要する内容（△：正答率5割未満）の一部を紹介します。

中学校3年生

国語	A：主として「知識」に関する問題	B：主として「活用」に関する問題
	おおむねできている<正答率7割強> ○ 本文の表現の仕方や特徴に注意して、内容を正確に読み取ること ○ 話の内容から必要な情報を的確に聞き取ること △ 短歌の形式に従って、意味のまとまりをつかむこと	おおむねできている<正答率7割強> ○ 書かれている内容をとらえ、資料に基づいて自分の考えを説明すること ○ 語句に注意し、その効果的な使い方に気づくこと △ 詩の内容や構成、表現上の特徴などを踏まえて写真を選び、詩と関連づけて自分の考えを書くこと
数学	A：主として「知識」に関する問題	B：主として「活用」に関する問題
	おおむねできている<正答率6割強> ○ 比の意味・指数の計算の仕方、単項式どうしの乗法の計算 ○ 展開図で示された空間図形について、2つの面の位置関係をとらえること △ 証明の意義についての理解	おおむねできている<正答率6割弱> ○ 事象を図形に着目して観察し、その特徴を的確にとらえること ○ 問題場面における考察の対象を明確にとらえること △ 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること

2 春日井市の学習・生活習慣等の状況（中学校3年生）

学習、生活習慣等の状況調査を「基本的な生活習慣」「学校、家庭に居場所があるか」「自己肯定感」「規範意識」の4つの観点から分析した本市の全体傾向は、国とほぼ±2ポイントの範囲内であり、国と同様の傾向を示しています。

◎状況をみるにあたって

国と比較して、肯定的な回答の割合が高い質問項目（○：国平均より3ポイント以上高い）、低い質問項目（△：国平均より3ポイント以上低い）の代表的なものを紹介します。

中学校3年生

- 「自分には、よいところがある」と答えた生徒は22%で、国平均より4ポイント以上上回っています。
- 「家で学校の宿題をしています」と答えた生徒は64%で、国平均より9ポイント近く上回っています。
- △ 「今住んでいる地域の行事に参加している」と答えた生徒は9%で、国平均より3ポイント以上下回っています。
- △ 「学校の規則を守っています」と答えた生徒は41%で、国平均より3ポイント以上下回っています。

3 学習・生活習慣等の状況と学力状況との関連（中学校3年生）

- ・ 朝食を毎日食べている生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にあります。
- ・ 学校の規則を守っている生徒ほど、教科の正答率が高い傾向にあります。

4 今後の指導のポイント

（1）中学校3年生国語

- ・ 文学的文章の読みにおいて、表現技法などについて確実な指導をすすめる。
- ・ 説明的文章の読みにおいて、読み取った表現の工夫を自分の表現に生かす場を積極的に設ける。

（2）中学校3年生数学

- ・ 実生活に結びついた数学指導をすすめる。
- ・ 論理的に自分の考えを分かりやすく説明したり、相互に表現し合ったりするなど数学的な思考力を高める指導をすすめる。

5 保護者（中学生をもつ）の皆様へのお願い

- ・ 朝食を必ずとる習慣をさらに身に付けさせましょう。
- ・ 学校の規則だけでなく、家庭・社会のきまりを守ることを身に付けさせましょう。

6 その他 この調査の結果は、学力の特定の一部です。